

# 2016年9月2～4日四日市東日本大震災支援の会 第36回派遣 熊本災害ボランティア

(確定版) 2016年8月17日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

九州で大規模な災害が発生し、尊い命が犠牲になり、多くの方が家を失って不自由な避難生活を強いられています。西原村では、7月5日現在で、500名以上の方が5つの避難所で生活し、60人以上の方が車中泊の避難生活をされていました。ようやく便利な場所に仮設住宅の用地が確保され、6月18日に50世帯が仮設住宅へ引っ越し、残りの約250世帯も8月には引っ越しが終了します。支援の会では、仮設住宅での生活を開始した約300世帯の皆さんのコミュニティづくりを支援するイベントを開催したいと思っています。

## <活動概要>

- 西原村仮設住宅での交流会
- 西原村内の見守り活動

**申込**：以下の情報をメールで送信してください。

★氏名・フリガナ・性別・生年月日・郵便番号・住所・携帯番号・緊急連絡先

メール：[kito@yokkaichi-u.ac.jp](mailto:kito@yokkaichi-u.ac.jp)

## **費用負担など**

高校生 10,000 円、大学生 12,000 円 (学生スタッフ 8,000 円)

一般社会人 20,000 円

★食事は各自負担 (活動日の昼食のみ弁当支給)

★宿泊(素泊まり)；熊本県山鹿市山鹿 1838 「旅館巳喜(みき)」電話 0968-43-5178

★高校生・大学生は保護者と参加者本人がサイン・捺印した**参加同意書を提出**してもらいます。

## **参加費支払先など**

★**出発当日**に同意書・参加費を会計担当のスタッフまで

★問合せ先：鬼頭；携帯電話：090-4266-2348

## **キャンセルに対する考え方**

支援の会は、バスが満席になって収支がバランスする極めて財政的にギリギリの運営をしています。突然のキャンセルがありますと、支援の会にとって大きな痛手となります。今回は8月19日昼12時以降のキャンセルは全額を負担いただきます。ご理解ください。



がんばろう、  
日本。

## <スケジュール概要>

### ★9月2日（金）

20：30 四日市大学9号館集合（食事・入浴・歯磨きを終えて集合ください）

21：00 四日市大学出発（四日市大学バス停裏の職員駐車場）

### ★9月3日（土）

8：30 頃；現地到着

8：30～16：00 ボランティア⇒ 旅館已喜 入浴&宿泊（夕朝食は各自、周辺に食事ができる店がある）

### ★9月4日（日）

6：30 旅館出発 帰路 ⇒ 18：00 頃大学帰着

## <持ち物（バス内では、座席には最小限の荷物だけを持ち込むこと）>

- ・筆記用具(活動中に記録をとる小さなメモ帳は必ず用意してください)
- ・健康保険証・常備薬・歯磨きセット
- ・お金（親戚やお友達などに、たくさん土産を買ってくることも、大きな経済的支援です）
- ・かさ・帽子・電池式携帯充電器
- ・エプロン（交流会では、全員が着用します）
- ・ボランティア活動保険証書（支援の会で加入し、集合した時に配布します）
- ・マクラ・クッション・アイマスク・マスクなど（バス移動に使用）
- ・入浴用タオル、着替え、歯磨きセット、ビニール袋など（旅館ではアメニティは用意しません）

## <注意点、守るべきこと>

- ・被災した家屋や被災者にカメラを向けないこと（車内からの遠景撮影はOK）
- ・被災者の気持ちに寄り添い、傷つけるような言動をしないこと
- ・積極的に被災者に対し、家族や友人、お姉さん、お兄さんのように笑顔で接しましょう
- ・仮設住人全てが住んでいた家を失った経験をしていることを常に忘れないでください
- ・指示されたことだけでなく、自分で考えて行動しましょう
- ・名前や職業・住所を聞くことは、基本的にNGです。深い絆ができれば、交換もOKです。
- ・写真撮影は深い絆ができてからにしましょう
- ・活動中の写真や映像が、ホームページや報道で使われることがあります。了承ください。

## <高速バス運行体制>

本会の東北派遣では、費用よりも安全という考え方を徹底しており、運転手2名体制での運行、運転手の現地での十分な休息確保をしております。そのため、現地での活動で不便なことがありますが、了承ください。今後も、さらに安全運行を徹底するよう、会としても努力を続けます。

\* JTB総合提携店(株)第一観光(担当；黒田真史)を通じ、三重交通 or 名阪近鉄のバスで熊本県を往復